

この資料の活用は、窓口での即対応と今月と翌月の農協在庫計画にもご利用できます。

キャベツ・はくさい

○アブラナ科野菜は、コナガの他、アオムシ、ヨトウムシ類が好んで加害するので、同時防除剤を上手に活用しましょう。

○各害虫共に、発生初期（若令幼虫）の時期に早めに防除しましょう。

(1) コナガ対策

分類	薬剤名	規格	譲渡書	主な対象病虫害	倍数 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
A	ジェイエース水溶剤	100g 500g	-	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、アブラムシ類他	1,000倍	200ℓ	A：有機リン系薬剤
	サイアノックス乳剤	500ml	-		1,000倍	200ℓ	
B	コテツフロアブル	250ml 500ml	○	コナガ、アオムシ	2,000倍	200ℓ	B：呼吸系阻害剤 蚕毒・魚毒が強いため、注意する。
C	エスマルクDF	100g 500g	-	コナガ、アオムシ	1,000倍	200ℓ	C：B・T剤（エスマルクは生菌剤）
D	パダンSG水溶剤	100g 500g	○	コナガ、アオムシ	1,500倍	200ℓ	D：ネライストキシン系薬剤 蚕毒・魚毒が強いため注意する。
E	カスケード乳剤	250ml	-	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ他	4,000倍	200ℓ	E：I・G・R剤 蚕毒が強いため注意する。 キチン合成阻害作用なので遅効性である。
	ノーモルト乳剤	500ml	-		2,000倍	200ℓ	
F	マブリック水和剤20	250g 500g	○	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、アブラムシ類他	2,000倍	200ℓ	F：合成ピレスロイド剤 蚕毒・魚毒が強いため注意する。
	アディオソ乳剤	100ml 500ml	-		2,000倍	200ℓ	
G	アフアーム乳剤	500ml	-	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ	2,000倍	200ℓ	G：GABA系阻害剤 抵抗性が発達しやすいので、年1回の使用とする。
H	ランネット45DF	100g	○	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、アブラムシ類他	1,000倍	200ℓ	H：カーバメート剤 眼に対して刺激があるので、必ずメガネ、マスクを着用し散布する。
I	スピノエース顆粒水和剤	100g	-	コナガ、アオムシ	5,000倍	200ℓ	I：マクロライド系薬剤 蚕毒が強いため注意する。
J	トルネードフロアブル	250ml 500ml	-	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ	2,000倍	200ℓ	J：オキサダイアジン系薬剤 蚕毒が強いため注意する。
K	プレオフロアブル	100ml 500ml	-		1,000倍	200ℓ	
					100g	200ml	K：新しいタイプの殺虫剤 天敵、有用昆虫に対し影響が少ない。耐雨性・残効性に優れる。

※1 各薬剤をローテーションで使用すること。

※2 コテツフロアブル及びアフアーム乳剤は年1回の使用とし、コテツフロアブルは幼苗期（1～3葉期）は薬害が出る恐れがあるので使用しない。

※3 コナガは、抵抗性が発達しているところが多いので、被害が出ない程度まで抑えることが重要です。

(2) 軟腐病対策（作物登録のある薬剤を選んでご使用ください）

軟腐病はキスジノミハムシなどの害虫の加害を受けた傷口から病原菌が侵入するので、害虫の防除を徹底することが重要です。

また、台風など（強風）により受けた傷口からも感染する場合もあるので、被害があった場合はただちに殺菌剤を散布しましょう。

分類	薬剤名	規格	譲渡書	主な対象病虫害	倍数 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
A	カスミンボルドー	100g 500g	-	軟腐病他	1,000倍	200ℓ	A：抗生物質・銅剤 予防効果と治療効果を併せ持つ剤である。
B	スターナ水和剤	100g 500g	-	軟腐病	1,000倍	200ℓ	B：オキシリニック酸 予防効果のみである。
C	ストマイ液剤	500ml	-	軟腐病	1,000倍	200ℓ	C：抗生物質（ストレプトマイシン） 治療効果もある。

※1 A・B系統の薬剤を中心に使用し、予防防除を行うことが重要です。本病害は、細菌（細菌）性の病害なので、他病害防除も兼ねて、銅剤を中心に使用し防除します。尚、治療効果のある薬剤は少ない現状にあります。

※2 ベと病と症状が似ているので、見分ける場合は、病斑部分の臭いを調べる（強い腐臭がある場合は、軟腐病と思われます）。

(3) ベと病対策（作物登録のある薬剤を選んでご使用ください）

分類	薬剤名	規格	譲渡書	主な対象病虫害	倍数 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
A	ダコニール1000	500ml	-	べと病	1,000倍	200ℓ	A：有機塩素系薬剤 予防効果のみである。
B	ビスダイセン水和剤	500g	-	べと病他	600倍	200ℓ	B：有機硫黄系薬剤 予防効果のみである。
	ペンコゼブ水和剤 （ジマンダイセン水和剤）	500g	-		500倍	200ℓ	
C	リドミルMZ水和剤	500g	-	べと病	1,000倍	200ℓ	C：マンゼブ・メタラキシル剤 予防・治療両効果を合わせ持つ。

※1 A・B系統の薬剤を中心に使用し、予防防除を行うことが重要です。発病した場合はただちにC系統の薬剤を散布する。また、本病害は雨等の水分により、感染率が高まるので降雨があった場合、直後に防除すると効果的です。

※2 病斑は軟腐病と似ていますが、腐臭が少ないのが特徴です。

(4) ナメクジ類（ウスカワマイマイ等を含む）の対策

A 作物の生育初期で葉が繁茂する前は**ナメキール**等の**粒剤タイプ**の薬剤を株間・うね間等に**10a当り100g**の割合で（1カ所当り5～10粒）配置する。（野菜畑・庭等で使用可）

B 生育期中～後期は葉が繁茂するので、**液剤タイプ**の散布剤**マイキラー**を**200倍**を**150ℓ/10a程度**散布する。（畑作物栽培ほ場周辺および、花卉栽培はハウス内で使用可）

※1 ただし、上記薬剤はいずれもメタアルデヒドが成分で、残効は短いので、発生初期に処理すると効果的です。

※2 また、降雨に合うと流亡するので、天候を見はからって処理すること。

※3 ナメクジ類及びウスカワマイマイ類は、湿度が高い夜間に食害するので、夕方の処理が効果的です。